

ときめき人

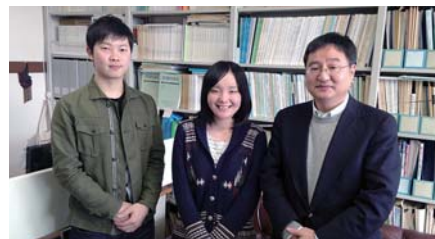
Tokimeki Bito

南方町・大門

佐藤 光沙さん

さとう ありさ
平成3年生まれ 血液型/A型

ビジネスとしての農業を学ぶ場として、市が今年度開講した「登米アグリビジネス起業家育成塾」。塾長を務めた東北大学大学院農学研究科の伊藤房雄教授を補佐し、4カ月に及ぶ育成塾で24人の塾生のサポートをしたのが同大4年の佐藤光沙さんです。育成塾では毎週開催された講座の準備を行ったほか、自らもプレゼンテーション講座で塾生たちを指導。塾生たちとの交流を通じ、「こんなにやる気のある若者が自分の地元の登米市にいたんだ」と認識を新たにされたそうです。「全国に誇れる登米市の人、モノの魅力を大学卒業後も発信していきたい」。佐藤さんは笑顔で話していました。



東北大学大学院の伊藤教授(右)と佐藤さん。左は佐藤さんと一緒に塾生をサポートした鎌田大地さん(同大3年)。鎌田さんも本市(南方町・峯)出身です

やる気ある若者がいっぱい
登米市の力を再認識しました

登米アグリビジネス起業家 育成塾で塾生たちをサポート



今月の表紙



◀2月18日、「カール油麩井味」が東北限定で新発売。その販売を記念して、とよま油麩井の会が登米小中学校の全生徒にカールをプレゼントしました。メーカーも「自信作です」と大鼓判。

編集室から

▼高校野球、春の甲子園出場を決めた気仙沼の東陵高校。本市出身の選手一人、正捕手の伊東拓人君は南方町の出身です。実は、私が南方町役場で広報を担当していた頃、「わが家のアイドル」で取材した子でした。ぜひ頑張ってくださいね。(遠藤)

▼とよま油麩井の会で監修した「油麩井味」のカールが発売されました。油麩井の会には、Bリーグランプリの横手、厚木、姫路大会でお世話になっており、今回のカール発売にびつくり。発売初日に買いました。ぜひ定番の味になってほしいですね。(増子)

▼「米川の水かぶり」の取材に行ってきた。わら装束をまとった男たちが屋根に水をかけながら練り歩く火伏せの奇祭。その中には人の小学生もいました。寒さに震えながらも力強く歩く姿に、伝統が受け継がれていく瞬間を感じました。(佐藤)

広報 Tome

Miyagi Tome Public Relations



モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>